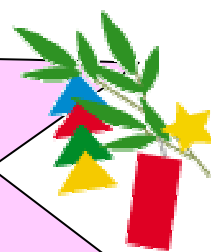




新生会看護部通信

2009.7.1 発行 第23号



看護ナラティブ交換会

管理者研修

【十全クリニック 師長 立松宣子】

2008年度看護部ワーキング会で「実践知」について学び、SNFの秋の講演会で正木春恵先生のご講演を聴きました。2009年3月管理者研修で、主任・副主任が看護エピソードを記述し、4月25日に看護ナラティブ交換会を実施しました。



二人一組でナラティブ交換

「看護観が整理できた」
「自分を客観的に見ることができた」

「文章化して語ることで、看護に気づく事ができた」

「自分の看護の原点になっていることに気づいた」

主任・副主任の感想

「語りを通して、振り返って、看護になっていると思った。」



交換会後のグループワーク



2009年度は、看護ナラティブプロジェクトを立ち上げ、各部署から代表の方が参加し、ナラティブ交換会を行う予定にしています。

「透析室の新人スタッフ指導術」発行！

【鳴海クリニック 専任師長 千葉志津子】

2004年に『新人教育のなぜ？がわかる 透析新人スタッフ・プリセプティ指導術』の初版を出版してから、5年が経過しました。新生会第一病院および関連施設である十全クリニック、鳴海クリニック、金山クリニック、東海クリニックの看護師と臨床工学技士で執筆しました。ベテランの看護師、臨床工学技士の経験知をふんだんに盛り込んだ指導書になっています。是非、ご活用ください。

<執筆者の声 Aさん>

人に物事を教えることでさえ、自分が理解していないとうまく説明ができないのに、文章で表現することは、もっと難しいと感じました。しかし、担当したところは、文献を読み自身の勉強になり、大変でしたがよい経験になりました。

<執筆者の声 Bさん>

執筆を担当させていただき、途中の校正など業務をこなしながら大変でしたが、改めて自分で学習するという機会を得ることができ、知識を深めることができました。ありがとうございました。

<執筆者の声 Cさん>

今回、導入期・維持期の担当でしたが、改めて、導入期とは、維持期とは、を考える機会になり、書き上げていく中で、自分でもしっかり定義づけできたような気がします。



●総論

- I. プリセプターになるために
- II. 新人看護師の教育体制
- III. さあ、新人看護師を育てよう
- IV. 新人看護師のストレスへの対処
- V. プリセプターとチーム全体の成長

●各論

1. 腎不全の病態と治療方法の指導
 2. 透析療法のしくみの指導
 3. 透析操作手順の指導
 4. 透析室の安全管理
 5. 合併症の病態とケアの指導
 6. 病期・病態ごとの特徴とケア
 7. 日常生活の援助と指導
 8. 心理的特徴とコミュニケーション法の指導 ※
- 理解度チェックシート

2009年度看護部目標

視点	大目標	中目標
顧客 (利用者)	1 患者参画の看護実践	①患者への看護サービスの見える化(部署・委員会・看護部) ②患者参加型の防災訓練(部署・委員会)
	2 患者の特徴を活かした看護	①合併症の予防と看護(部署) ②生活支援の充実(部署)
内部プロセス (業務)	3 看護安全の徹底	①感染防止の見直しと実践(部署・委員会) ②ハイリスク患者への事故防止と教育(部署・委員会) ③暴言・暴力・セクハラの防止と対応(部署・委員会)
	4 経験知の活用	①得意分野を活かした看護実践(部署・委員会・看護部) ②基準・手順の実践への活用(部署・委員会・看護部)
学習と成長 (人材育成)	5 現場教育の強化	①「看護ナラティブ」交換会の実践(部署・委員会・看護部) ②e-ラーニングの活用(部署・委員会)
	6 管理・教育システムの見直し	①院内教育の活性化と評価(部署・委員会・看護部) ②ラダーと目標管理のリンク(部署・委員会・看護部) ③指導者・管理者育成のしくみづくり(委員会・看護部)
財務 (経営)	7 健全経営の参画	①目標数の見える化(部署・看護部) ②グループ・他施設との連携(部署・委員会・看護部)
	8 働きがいのある職場	①働きやすい職場づくり(部署・看護部) ②看護活動の見える化(看護部)

各部署の重点目標

2009年度は、主任・副主任参加の管理者研修として計4回開催されました。今回、初めての研修参加となりましたが、どの回の研修もみなさんいきいきとしており、さまざまなグループワークや活発な意見交換が繰り広げられていました。最終日には、2008年度の重点目標の評価と2009年度全部署の重点の目標が発表され、それぞれ部署での取り組みや特徴がとてもわかりやすく表現されており、これからの活躍が期待されるものばかりでした。【十全クリニック 主任 平原みどり】

外来

- ★SMBG・インスリン自己注射の患者指導法を伝達し、スタッフが実践できる
- ★院内の学習会・研究会の参加。フットケア研修の参加後院内で伝達講習を行う

あしたの丘

- ★ナラティブの学習会を実施
- ★事例をまとめる
- ★業務を円滑にするため他部署との連携システムの見直し、実施

2F病棟

- ★部署内で患者参加の災害時シミュレーションを実施する
- ★ヒヤリ・ハット活用し、分析をする
- ★KYT学習会を開催する
- ★救命救急学習会を開催する(Ns・CS全員対象)

鳴海クリニック

- ★フットケアチェックの定着(転入時チェックリストに入れる)
- ★私の目標設定時、ラダーで獲得していないものをとりいれる
- ★スタッフへ目標患者数と現状患者数を掲示し見える化する

金山クリニック

- ★ホームページの看護部門を充実させる
- ★情報誌「憩いの場」で紹介
- ★院内掲示物で紹介
- ★患者会にて活動の紹介とセルフケア紹介
- ★フットケアの充実
- ★高齢者プロジェクトの立ち上げ
- ★患者疑似体験を継続し、患者の心理を理解する
- ★参加型学習会の充実
- ★学習会の評価の再検討(評価用紙のまとめ)

3F病棟

- ★感染対策病棟マニュアルの作成
- ★転倒転落マニュアル・チェックリスト、患者用パンフレットの作成

東海・東海知多クリニック

- ★火災を想定し、患者を含めた災害訓練を実施
- ★患者アンケート調査結果に基づき対策を検討
- ★災害(火災)時の対応方法を検討し、患者に再指導
- ★事例を通して、急変時の対応方法の学習会実施
- ★新人教育項目に添って、指導方法の工夫点を小グループで検討・発表し、共に学ぶ

血液浄化センター

- ★通院患者の足データベースを全員実施。足病変の早期発見・治療に繋げる
- ★感染者のベット配置を考え、対応策の検討

十全クリニック

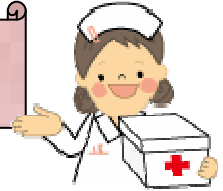
- ★暴言・暴力・セクハラに関するスタッフへの学習会実施、記録用紙(気軽に記入できる用紙)を作成し、報告会を実施し、対応策を検討する

在宅透析教育センター

- ★高齢CAPD患者が介護保険を利用しているので、ケアマネージャー訪問看護師を含め、カンファレンスを行う
- ★ナラティブの研修後、エピソードを記入して交換会を行う



看護安全シリーズII



★転倒・転落防止★

【3F病棟 平山 多佳子】

近年、高齢化が進む中、病院や介護施設での高齢者の転倒転落事故が問題となっています。ベッド上・車椅子・廊下・トイレなどの場所が多く、せん妄・薬剤・めまい・活動障害・慣れない環境などが原因で発生していると言われています。看護のヒヤリ・ハット事例においても注射に次いで発生件数の多い重要な問題となっています。

当院でも、入院患者の高齢化に加え、60%が透析患者というハイリスクな状況で、転倒転落防止対策はリスクマネジメントの中でも、重要課題となっています。現在、「危険度チェックリスト」の使用や「転倒転落防止マニュアル」の作成、また、スタッフおよび患者・家族のリスク意識の向上など、活動しつつあります。

<現在の活動>

- ヒヤリ・ハットでリスクファクターを分析し、危険度チェックリストを作成する
- 転倒転落防止マニュアルの作成
- 患者・家族向けのパンフレット作成
- 病棟会やカンファレンスでの転倒転落事故事例の検討会



<転倒転落予防の実際>



アーム回転式ベッド柵

ベッドからの立ち上がりの際、安定する。



手すり付ポータブルトイレ

通常のポータブルと違い、ある程度の重量があるため、立ち上がりの際、安定する。



低床ベッド

床面20cmまで下げられる為、落下によるダメージが軽減される。



「主任が心動かされた本」の紹介 ~PART4~



主任が選んだ今回の1冊！！

『葉っぱのフレディ —いのちの旅—』

- 著者:レオ・バスカーリア
- 出版社:童話屋

【十全クリニック 主任 緒方幸代】

今回、私が紹介する本は、レオ・バスカーリア作『葉っぱのフレディ —いのちの旅—』です。毎年当たり前のように訪れる、変わらない日常の中に大切な事がたくさんあっても同じ物一つもないこと。人間の人生を葉っぱの一生になぞられて生命は繰り返すことを教えてくれています。自分のいのちは自分のものではなく自分のいのちは他の多くのいのちにも影響を与えていること。

言葉ではなく感性を感じることの出来る本です。子供のみえる方は「生きる大切さ」や「死」について言葉で説明するより、この絵本を読んであげてください。

中学校の国語の教科書に掲載されていました。他に1冊絵本を紹介いたします。「にじいろのさかな」本当の幸せって？教えてもらえる本です。是非一度読んでみてください。

